

注意！

■この記事は発行年月日時点の内容のまま公開していますので、ご覧になった時点の法規制(農業使用基準等)等に適合しなくなった内容を含む可能性がありますから、利用にあたってはご注意ください。

農作物技術情報 第2号 畑作物

発行日 平成21年 4月23日
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部
編集 中央農業改良普及センター 県域普及グループ (電話 0197-68-4435)

携帯電話用 QR コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます
パソコンからは「<http://i-agri.net>」 携帯電話からは「<http://i-agri.net/agri/i/>」

1 小麦

生育状況

越冬前の生育は良好で、越冬後も4月以降気温の高い状況が続いていることから、小麦の生育は順調に進んでいます。

播種時期や萎縮病類の発生状況等により圃場間差は見られますが、全般に生育ステージは早まっています。

小麦病害の発生状況

雪腐病は、県北部では広く発生が見られましたが、全県では平年より少ない発生となっています。

縞萎縮・萎縮病については、平年よりやや多い発生となっています。

これからの管理対策

- ・ ほ場の排水口や明きょの点検補修を行い、スムーズに排水できるようにしましょう。
- ・ 減数分裂期以降の追肥は、品種、地力を考慮し、生育量に応じた追肥を行いましょう。
- ・ 赤かび病の防除は開花始期～盛期に必ず行いましょう。2回目の防除は、その一週間後に行いましょう。
- ・ **生育ステージを確認し、追肥や病害防除の適期を逃さないよう注意しましょう。**

(1) 農業研究センターにおける小麦の生育状況

《北上》小麦についてはかなり生育が早かった昨年と同じくらい、概ね平年より1週間～10日程度進んでいると推定されます。生育が早まっていることを反映して、草丈・乾物重などは平年を大きく上回っています。茎数は平年の同時期の数値と比較するとやや少ないものの、生育ステージを考慮すると概ね平年並み以上を確保していると考えられます。

《軽米》4月20日現在の生育は、草丈、葉数、乾物重とも平年を大幅に上回っています。また、主茎の幼穂長は、ナンブコムギ、ゆきちからとも5mm程度となっています。

表1 農業研究センターにおける平成21年産小麦の生育状況

場所	品種	調査月日	播種年次	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)
農業研究センター 作物研究室	ナンブコムギ	4月20日	平成20年	31.3	807
			平年値	21.1	811
	ゆきちから	4月20日	平成20年	31.4	917
			平年値	22.8	964
農業研究センター 県北農業研究所	ナンブコムギ	4月20日	平成20年	30.1	1829
			平年値	20.6	1710
	ゆきちから	4月20日	平成20年	33.2	2503
			平年値	24.4	2191

平年値は、H15～H19の5カ年平均値(ただし、北上のナンブコムギは19年は種を除く)

(2) これからの管理

ア 排水対策

排水口や明きょが埋まっていないか、ごみが詰まっていないか確認しましょう。明きょに排水が流れずにたまっている場合があります。確実に排水口につなぎましょう。

イ 後期追肥の実施

減数分裂期以降の追肥で、子実の充実とタンパク質含量の向上を図りましょう。しかし、生育量や品種によって追肥の有無、時期、量が決まってくるので、地力を考慮し、圃場にあわせた判断が必要となります。無理に追肥を行って、倒伏や、生育にバラツキが出ないようにしましょう。

表2 減数分裂期における生育目標値（左表ナンブコムギ、右表ゆきちから）

生育量の目標値			生育量の目標値（上限）		
草丈 (cm)	有効茎数* (本/m ²)	葉色(n-1葉)*	草丈 (cm)	有効茎数* (本/m ²)	葉色(n-1葉)
55～65	450～550	36～44	55	500	47
後期追肥の対応 目標値を超えるとき：追肥しない 目標値の範囲内のとき：減数分裂期に窒素成分で2kg/10a			後期追肥の対応 目標値の上限以上のとき：穂揃期に窒素成分で2kg/10a 目標値の上限を下回るとき：穂揃期に窒素成分で4kg/10a		

注)*印は、追肥対応のための主要な診断項目。減数分裂期は、約半分の有効茎の止葉の葉耳が出た時期を目安とする。この時期は出穂期の概ね10日前となる。

ウ 赤かび病の防除

開花始期～盛期に必ず薬剤防除を行います。2回目の防除は1回目の防除から一週間後に行います。

開花が早まることが予想されます。生育状況を確認し、適期防除に努めましょう。

表3 赤かび抵抗性に応じた小麦奨励品種別の防除適期

品種名	赤かび抵抗性	防除適期		
		開花期 (1回目散布)	1回目散布の 7～10日後	2回目散布の 7～10日後
ナンブコムギ	やや強	必須	状況に応じて 追加散布	-
ゆきちから ネバリゴシ コユキコムギ キタカミコムギ	中	必須	必須	状況に応じて 追加散布

- ・小麦の開花は出穂してから1週間程度後となりますが、気温によって開花までの時間が長くなったり、短くなったりします。出穂を確認したらほ場の観察をこまめに行い、適期に薬剤防除を行いましょう。
- ・罹病穂の抜き取りは、穂が緑色のうちに行いましょう。

2 大豆

(1) 圃場の選定

ブロックローテーションを導入する場合は、大豆作に不向きな圃場は計画から除外するなど、圃場の選定から吟味しましょう。

(2) 連作防止

連作による病害虫の蔓延、地力の低下、雑草の多発などが問題となっていることから、長期的な展望を持って、計画的な土地利用、作付けをすすめてみましょう。

(3) 排水対策

大豆は初期の湿害が収穫時にまで影響する作物です。ほ場周囲の排水溝やほ場内の明きよ、補助暗きよ等対策を講じて良好な初期生育を促しましょう。

大豆種子について

今回配布される大豆種子はすべての品種で発芽率が80%以上確保されています。配付された種子の大きさを確認して、播種量の調節を行いましょう。

<参考> 21年度播種用種子

品種	区分	百粒重 (g/100粒)	必要種子量 (kg/10a)
ナンブシロメ	中粒	25.2	3.0kg 程度
スズカリ	大粒	35.6	4.3kg 程度
スズカリ	中粒	27.6	3.3kg 程度
リュウホウ	大粒	32.1	3.9kg 程度
コスズ	小粒	10.7	1.3kg 程度
コスズ	極小粒	8.3	1.0kg 程度
すずほのか	小粒	12.1	1.4kg 程度

ナンブシロメ・スズカリの適正な栽植密度は10aあたり10,000～12,000本、リュウホウの適正な栽植密度は10aあたり7,000～15,000本です。
必要種子量は10aあたり12,000本、出芽率100%の場合で計算していますので、出芽率が80%程度となっても、10,000本近く本数は確保できる種子量です。

春の農作業安全月間実施中！ [4月15日
～6月15日]

急ぐより 家族の笑顔を大切に 想う心で ゆとりの仕事

次号は5月28日(木)発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づき作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。